

町民×CATV×大学

みんながつくる 安心ほっとな防災情報の発信

H27年度

H28年度

H29年度

H30年度

1まち1キャンパス事業 採択

1まち1キャンパス事業 採択

1まち1キャンパス事業 採択

安全安心CREDO

まちの魅力と防災への決意(CREDO)を伝える企画番組

①火の用心CM



町民が拍子木をリレー防火への決意を語るCMキャンペーン

⑤だるま1000PT



東日本大震災の被災地友好町双葉町と京丹波町だるま折り紙で心の交流

近藤ゼミぼうさい甲子園受賞

火災5ヶ月ゼロ



火遊びしません!!!



92歳毎日火の用心

③安心ほっとライフ

防災知識を伝える企画番組
消防署・警察署と連携



不審火どこが危ない?

④ぼうさい一口メモ

告知放送で防災の知識を伝える取組(質美地域)



高齢者等避難開始とは熱中症予防に注意!
京丹波町の活断層は台風
に注意 など

地区防災力の向上へ



地域の児童が伝え手に

②安心ほっとさん

安心活動を紹介する企画番組



1000人の町民が出演 意識の向上へ

火の用心CM 100回
記念特番制作

防災知識の向上へ

大震災の継承・友好町交流の推進へ

復興へ向けて思いを寄せ合う

近藤ゼミぼうさい甲子園 連覇

火災6ヶ月ゼロ

平成30年9月20日(木)
社会安全学部と京丹波町
包括連携協定締結

近藤ゼミ復興大臣賞
ケーブルアワード全国優秀賞

安全・安心な京丹波町へ

みんなが作る 安心ほっとな防災情報の発信

①自主放送 CMキャンペーン ～京丹波 みんなで火の用心～



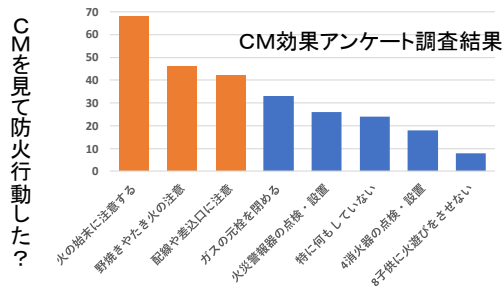
火遊びしません!!!

大正生まれの92歳
毎日火の用心しています!

拍子木をリレー、**防火決意を語る60秒CM**



保育園児から100歳まで**町民1000人出演**
(H28年2月から100本以上制作・毎日放送中)



CMに出た人、見た人双方の意識向上

意識の涵養

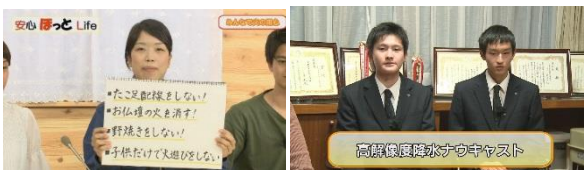
②防災番組～安心ほっとさん～



安心活動を紹介する企画番組

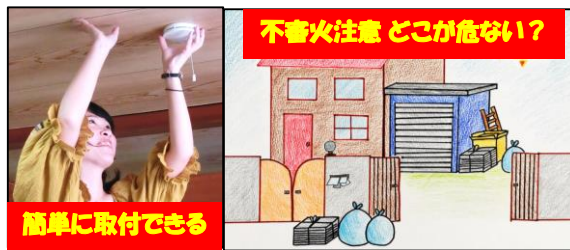
- ・毎日安否確認の電話を掛け合う高齢者
- ・警報がでたら地域で率先避難する高齢者
- ・中学校の防災食の授業をレポート など

③防災番組～安心ほっとライフ～



高령優良降氷水ウキャスト

- ・防災を学ぶ関西大学生がキャスター
- ・**地震・火災対策などを防災知識を伝える**
- ・高校生もキャスター担当



簡単に取付できる

不審火注意 どこが危ない?

放送をより多く見た人ほど
防災への取組をした人が増えた

知識向上・行動の喚起

④ぼうさい一口メモ



高齢者等避難開始とは
熱中症予防に注意!
京丹波町の活断層は
台風!に注意 など



地域の児童が伝え手に

告知放送で防災の知識を
伝える取組

⑤だるま1000プロジェクト



双葉町の復興へ
心をこめて折ました

京丹波町の皆さん
ありがとう

東日本大震災の被災地友好町双葉町と
京丹波町がだるま折り紙で心の交流



2000個集まったダルマ折り紙



福島県いわき市にある
双葉町の復興公営住宅にて

両町の気持ちをつなぐCM制作
Instagramでつながりを配信

■背景① 東日本大震災以降 防災行動の主体化が課題

- 防災行動の**内発性の自助をいかに喚起するか**課題
- 防災の**すそ野を広げ底上げを図る**ことは極めて困難
- **地域密着型の防災普及啓発策**の検討を図る必要



- ## ■背景② 京丹波町の低い防災意識
- 人口約14,500人、高齢化率 4割
 - 近年地震や豪雨災害がほとんど無い
 - 住宅用火災警報器設置率 京都府ワースト1位
 - 防災行動を十分促進できていない状況

■関西大学社会安全学部と連携・連帯

- 大阪府高槻市にある防災専門の日本唯一の学部
- 災害情報論について研究する近藤ゼミと協力
- 約100人の学生を受け入れ番組制作
- CATVを活用した防災情報の発信について調査・研究
- **関係人口・定住人口の創出**に効果
(CATVの取組に興味を持った関大生が町職員に)



番組やCMを制作する大学生



地域のつながりから番組が生まれる(火の用心CMより) 地域住民と交流する大学生(だるまPT)

CM番組出演、制作など、1,500人以上が参画
町民の顔が見え、励ましあう関係性を醸成

■町民がCATVで防災情報を伝える担い手に



- ⇒ **町民ひとりひとりが防災の担い手**
みんなで、みんなの防災力向上
- ⇒ **地域密着の顔が見えるCATVは**
人動かす力がある

■取組成果を研修会などで教材活用

- ・兵庫県民局主催 淡路島市民向け防災研修
- ・大学で講演・授業(関西大学・同志社大学・福知山公立大学、他)
- ・京都新聞社総合研究所(命を守るメディア活用術)
- ・行政向け防災研修(大阪府教育庁・尼崎市消防局・京丹波町役場)
- ・京都府広報研修(市町村広報担当)
- ・京都府教職員研修 ほか多数

■学会報告

- ・日本災害情報学会
- ・地区防災計画学会
- ・社会貢献学会



日本災害情報学会(京都大学) 淡路島防災講演会

- メディア掲載 NHK・読売新聞・京都新聞 他多数
- 補助金 京都府1まち1キャンパス事業(地域創生)
- 受賞など ぼうさい甲子園 優秀賞(3年連続)
ケーブルアワード2018
日本災害情報学会 廣井賞

みんなが作る 安心ほっとな防災情報の発信

町民・地域 防災情報発信の担い手に

③まちづくりへコミット

講演会の実施、町内小中学校・高校と連携
役場職員の研修など人材育成
地域・各団体・行政と大学の連携を広げる

対話

みんながつくる
安全・安心なまち

①取材

普段の番組作りで地域の魅力・課題
ニーズの吸い上げ

対話

関西大学社会安全学部

対話

京丹波町CATV

②番組制作協働

教授陣・学生と対話し番組の制作協働、京丹波町全体を研究フィールド
大学とCATV共同で学会報告(日本災害情報学会・地区防災計画学会)

防災力の向上～意識と知識の向上が力～

町民一人ひとりが命を守る行動に移すために、
防災減災へ意識の向上と知識の向上を目指す。
意識と知識が向上が行動を促し力になる

意識向上

CMキャンペーン



知識向上

防災番組・告知端末

町民・CATV・大学

アイデアを共有・創発する

対話を重視し取組継続へ



包括連携協定のねらい

関西大学社会安全学部と京丹波町が連携協定を締結。
相互の人的、知的資源の交流と物的資源を活用しながら、
地域防災力の向上を図るとともに、安全・安心で活力ある
地域社会の形成と発展及び人材育成に寄与する

包括連携協定4つの軸

- (1) 安全・安心なまちづくりの推進
- (2) 地域コミュニティの活性化
- (3) 大学の教育研究活動及び課外活動の展開
- (4) 人材の育成

関西大学社会安全学部(大阪府高槻市)

防災専門の日本唯一の学部
安全・安心を研究テーマに、社会や人間、自然を洞察し
そこにある問題を解決することで、自然災害・社会災害
の最小化を目指す学部
文理融合型で、情報学、行政学、都市計画、地震学など
多彩な分野で研究が進められている



見込まれる効果

- 安全安心で笑顔広がる京丹波町に
- 関西大学の多彩な知恵と知識をまちづくりへ
- 大学の研究フィールドの展開とひとづくりへ
- 災害時など対応能力の強化
- 関係人口の創出～量から質へ～

まちづくりへ熱い思いを持った学生を呼込、関係人口の増加が見込まれ、町に積極的に関わる若い人が増える

関係人口の量にこだわりすぎず、まちづくりへの想いを寄せ合い関係性の質の向上を目指す